

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所

第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



CREATE HOPE in the WORLD



世界に希望を生み出そう

第1632回例会 令和5年9月26日(火)

【会長の時間】

山田 利明

皆さん、こんにちは。実は5回目の会長になります。会員が少ないので、どうしても少人数でまわしている状態です。

クラブは1987年、37年前に秩父ロータリークラブの小クラブとして誕生しました。その時の初代会長が山口仁平さんです。それから37年経ちまして、山口さんは名誉会員としてクラブに残っております。そういう状況ですが、現在は7名です。今年新会員に入会して頂きました。人数は少ないですが、希望を持ってやろうと頑張っております。

会員数については最大で私が入会した30年くらい前は40人近くの会員がいましたが、どんどん減って、私が初代会長をやった20年くらい前は会員数を20名にしてハワイへ行こうと頑張りましたが、達成する事が出来ませんでした。

今年は7人で何とかやっていきたいと思いますが、クラブのテーマは「地域の夢を語り、希望を持とう」です。RI会長テーマは「世界に希望を生み出そう」で、地区スローガンが「希望を語ろう」です。RIのテーマに沿って皆野・長瀬ロータリークラブもやっていきたいと思います。

どんな所に目を付けようかという事で身近な地域の夢をたくさん語ってみよう。夢を語りたくさんの希望を持とうという事で、変化を恐れず希望に向かい行動しようという事です。身近な所で長瀬は観光地です。なかなか観光の人がロータリーに入会してくれない。そういう人達にも何とか入会してもらおうという事で、地域を見直して、健康的なハイキングコースとかお金を掛けずに地図上に作って宣伝しようと思っております。

ロータリーの夢の希望として、例会で「ほら吹き」と言われるくらい夢と希望を今年は持とうと。破れかぶれで会員を50人以上にしようとか夢を持ちました。どうなるか分かりませんが。後は今後はパソコンなどを活かしZoom例会を取り入れても良いのかなと思っております。

地域の夢と希望としては、私の趣味は山登りです。今年は富士山にロータリーで登りましたが、都合で行けませんでした。若い頃はロッ



ククライミングをやっています、かなり危険な事もやり、谷川岳、北アルプス、北岳などの岩場を登っていました。最近ハイキングになりましたが、北アルプスのハイキングなどもやっております、特に岩のある山が好きなので、岩山に行っております。

そんな事で地域の健康的なハイキングという事で、長瀬の川沿いに観光的なハイキングコースをつくれれば良いかなと思ひまして、皆野、長瀬地内の散歩コース、山はロングハイキングという事で考えております。私も2、3年前から地域の山を歩いて、上峰、破風、美の山とかありますので、9日間掛けて歩いてまわりました。

地域を見直して希望を持とうという事が今年のテーマになります。このような形でやっていきたいと思いますが、会員数が少ないので何とか会員を増やす事を考えております。

RI第2570地区

地区幹事 田島 高久様



高丹ガバナーの今年度の目標としてマイロータリーを70%にしようという事です。秩父ロータリーは40いくつだったと思います。皆野・長瀬さんはもう少し低く、深谷は33に届いていません。これについては

6月末と現時点で数字は変わっていません。ここはクラブの会長さんが中心になってやって頂かないと前に進みません。内容についてはガバナーからお話がありますが、まずは登録するところから始まりますので、スマホのメールが登録してあれば、マイロータリーに登録する条件は揃ってますので、登録の仕方を教えてもらえば、簡単に出来ますので、勇気を持ってやって頂ければと思います。次に月信のお話が出ましたが、ラインの公式アカウントがあります。簡単に登録出来ます。地区協議会で配布した資料にQRコードがありますので、スキャンするとカメラが反応するので、一回押すと地区のページが出ますので、もう1回友達という事で押すと友達になります。ラインの友達で何が良いかと言うと、地区で発信する事が入ってきますので、そこから地区のホームページに入りますので、いろいろな所が見られるようになります。スマホについては少しずつ付き合っていくと、新しい世界が広がると思いますので、一歩踏み出して頂きたいと思ひます。



**深谷ロータリークラブ
会長 寺田 恭典様**

私は2年前に高丹ガバナーが補佐の時に同行者で参りました。その時に受けた印象は深谷クラブと似ているのかなと思いました。やはり歴史の長い伝統のあるクラブかなという感じを受けました。今日も皆様方、整

然と例会に出席して頂いているなど実感致しました。今年度、地区の方針があると思いますが、地区の活性化、クラブの活性化がメインのテーマだと思えますが、深谷クラブもどちらかと言うと歴史はあるのですが、なかなか活性化していないという事があります。高丹ガバナーを輩出したという事で、みんなで視野を広げようという事で、今日も3名同行させて頂いております。3分の2位同行が終わりまして、私も今日で7回目になります。いろいろ皆さん方のクラブを訪問させて頂き、どういった感じのかなと興味を持ってやっております。

クラブの会員58名おりますが、ほとんどの会員が最低1回は地区の50クラブを訪問するという事で動かさせて頂いております。今日も参考にさせて頂きたいと思っております。

【幹事報告】

高田 富康



本日は高丹ガバナーを迎えての活況な例会が出来て大変うれしく思っています。また秩父クラブの皆様には日頃から大変お世話になっている事に感謝しております。

特に私の方からの幹事報告はありません。

ガバナー卓話

RI第2570地区

ガバナー 高丹 秀篤様



今日はいろいろご準備頂きまして、ありがとうございます。また日頃より秩父クラブのメンバーの原島さんや高畑さんと太田さんにはいつも地区でお世話になっております。次年度はもっと多くの人を地区に派遣して

頂きたいと思っております。深谷から来た地区幹事と深谷RCの会長にもご配慮頂き、ありがとうございます。もう一人渡邊さんに来て頂いております。渡邊さんは深谷の駅の南側にあります瀧宮神社の宮司さんです。

秩父と言いますと、何か親しみを覚えるのが私の昔からの感覚です。秩父の山々も好きですし、私も山が好きで南アルプスの山を毎年夏に縦走しておりました。10日くらい掛けて縦走していました。南アルプスの山々は一つ一つが非常に大きいです。皆野の会長さんとは反対で

岩場は怖いです。落ちたら終わりですから。私は大きな山が好きです。北アルプスへ行くと、槍ヶ岳だとか山田さんが大好きな岩場がたくさんありますが、南にも一番北に面している北岳がありまして、そこが富士山の次に高い日本の山です。一見なだらかに見えますが、歩いてみると味があると言うか大変な山です。その山を月信の最初のページを7月、8月、9月、10月と飾らせて頂いております。南アルプスと言いますと、神の鳥と言われている雷鳥が生息しております、私が行くといつも登山道のまわりに寄って来てくれます。

さて、RI会長のゴードンR.マッキナリーさんが私が今年1月に3年振りですが、国際協議会がアメリカのフロリダ州でありました。そこに行きました時に感じたのは、非常に国際ロータリーは国際ですので国際色豊かです。日本には34地区ありますが、全世界で350近い地区がありまして、その350近い地区のガバナーエレクトが一堂に集まって開かれるのが国際協議会です。そこで初めて次年度の、つまり今年度のRI会長の方針が発表されるという事になります。その時にRI会長が一番大きな声でなんととも言われたが「継続性」です。継続性というのは、秩父ロータリーの今年度のスローガンでもあります不易流行というのは私も好きな言葉でして、変えてはならない物に変えてはならない。変えなければいけない物に変えなければいけないというのが不易流行の意味だと理解しておりますが、RI会長のゴードンR.マッキナリーさんも継続をしつつも毎年変化を先取りして、時には変化だけではなく脱皮もしていないといけません。そうでないと、一つの大きな組織は保てないと盛んに言われてました。つまり、DEIと私達が声を大にして言っているコンセプトですが、多様性、公平性、インクルージョンは開放性とか訳されてますが、たとえば秩父ロータリークラブでありましたら今日も3年から5年未満の方達とお話させて頂きましたが、たくさんの方達の新会員がおられるという事は雰囲気が良いです。そういう中で、この60年の歳月を先人達が築いてきたクラブですから、その中で変化とこれからどういうふうにして秩父ロータリークラブをどういうふうなクラブにしていこうかという事を皆さんで協議して、私は希望を語ろうと。ロータリーを語ろうという事を私のスローガンに致しました。なぜなら私達は同じロータリアンですから、We are Rotaryではないですか。ロータリーと言え、一緒にやれば何か良いものが出て来るのではないかと。それでこれからの希望を語って、ロータリーを語って、そして一人一人がロータリーを感じて、ロータリーを楽しもうではないかというのが、私のコンセプトです。

クラブについても同じように継続性は重要だと思っております。つまり不易流行です。このクラブに具体的に変えてはいけない事、変わらなければいけない事、それをメリハリをつけてやっていったらどうかなと思っております。

まず会員が積極的に参加するにはどうしたら良いかを常に会長さん、リーダーの方に考えて頂きたいと思っております。やはり何の組織もそうで

す。トップの考え方が組織を動かしていきます。そういう意味からしても、ロータリーも会員の皆さんがどういうふうに参加して頂けるか。あるいは喜んで、楽しく参加して頂けるかを常に考えるのがクラブリーダーの皆さんの役目だと思います。同じく地区においても私の任務です。その上で「入りて学び 出でて奉仕せよ」という言葉はロータリーの有名な言葉ですが、まさに学ぶ場を地区は皆さんに提供したい。あくまでも地区の活動はクラブを支援する事が先決です。クラブを支援する事に地区の役割があるわけですから、学ぶ場を出来るだけ皆さんがクラブとしてオープンに学べる場を提供するのが地区の役割です。

特に新会員の方々の研修、あるいは学びをどうサポートするかです。研修ですとか、ロータリーは米山梅吉さんがよく言われていた事です。ロータリーは「人間の学ぶ道場」だという事。そういう事がロータリーに価値としてあるのではないかと考えています。

先ほど田島地区幹事が言っておりましたマイロータリーへの登録70%。なぜマイロータリーの登録して欲しいかと言いますと、マイロータリーの中にロータリーの情報が詰まっています。ロータリーがどれだけお金を掛けて、このシステムを作ったかという事です。ここにロータリーが一番の背骨があります。背骨と言うのは、一人一人の会員がいつでも学べるようなプラットフォームを作ったのがマイロータリーという仕組みです。これを利用しないと、会員として損な事です。マイロータリーに登録出来ないという人も多いと思いますが、優しく事務局の方も含めてお手伝い願いたいと思います。

それからクラブ会長は自分のカラーを出して自らのストーリーを皆さんにお話する。テリングという事をやって欲しいと。あの会長の話があるから私は例会に出たいというふうに思ってもらえるような例会が理想的です。やはり会長がクラブを引っ張っていくわけですから、自分自身もそういう環境にいれば、緊張感があって考えるので、自分自身の成長出来ると思いますので、まだ会長をやられていない方は手を挙げて、イエスマンまたはやりますという言葉を用意して、会長職をやった方が自分自身にとって良い事ではないかなと自分の経験から思います。

地区機能を活用して欲しいという事でDEIのコンセプトを一人でも多く理解して欲しいという事でDEI推進チームを作りました。DEIは、クラブとして分からないという事であれば、地区に推進チームがありますので、お声かけを頂いたら、どういうDEIのコンセプトを皆さんに広めて頂けるかご紹介します。また地区DX推進コミティは、地区の事務費が非常にかさんでいました。そこで月信を7月と最後の月信のみを皆さんにお届けするという事がありました。これをラインの登録によって、10月1日には10月号の月信が皆さんのスマホに入ってきます。そういう形で常に地区情報がスマホを通して送られるような仕組みを地区幹事に考えて頂いています。これによって事務費が500万くらい節約出来ます。ぜひご理解を頂いて、ラインで友達登録をして頂きたいと思

います。簡単ですので、ご協力頂きたいと思えます。どうしても印刷で見たいという方は、事務局の方には申し訳ないのですが、印刷をして頂けたらと思います。

この2570地区、蘇れという刺激的なプロジェクトを興しています。蘇らないと2570地区は衰退していくという状況が続きました。そこでお2570地区、蘇ろうよという事で特別プロジェクトを組んで、富士山登山ですとか新会員を集めたワークショップをして、その後皆さんで寄居の花火大会に行きました。私も参加しましたが、皆さんと一緒にお酒を飲みながらお話をしました。そういう事を新しい会員は望んでいます。どうやったら自分は近づけるか、あるいは踏み込めるかというような事を積極的に考えて頂いてますから、その交流時に勉強していくという事を考えております。

ゴードンR.マッキナリーさんは、スコットランドの首都エジンバラで歯科医をやられています。非常に優しいジェントルマンです。彼が言っているのは、継続という話と前々の先輩のRI会長から引き続けている、この前がジュニアジョーンズですが、彼女も強く言っていました世界でいろんな事があるいは世界の紛争が起きた時に、まずもって悲しい目をしているのは小さな女の子が多いんです。そういう女の子を助けなくてははいけない。将来的に立派な女性に育つような環境を我々は少しでも提供していきたいと盛んに言っておられます。そういう意味で国際ロータリーは世界のあちこちで紛争が続いているので、彼はCreate Hope 希望を見いだそうと。世界中に力強く我々に訴えかけています。つまりヨーロッパは我々と違って、ウクライナがあります。私が行った時は1月ですからウクライナが大変な時期でした。そういう時期にウクライナの人達も助けなくてははいけないと力強く言われてましたし、我々もそれに呼応してウクライナ支援をやってきたわけですが、とにかくスコットランドのあの辺りにいけば、日本の場所は非常に平穏です。世界の中では。そういう平穏な所にいる我々も国際ロータリーの一員として、そういう事も考えていかなければいけないのではないかと私は国際協議会に出て感じました。

ゴードンR.マッキナリーさんが7月の新年度を迎えるにあたってメッセージを送ってきています。内容は「平素より大変お世話になってます。ロータリーは新しい深刻な課題に直面する中でも会員と世界の人々への思いやりを示し、末永い平和を築くために尽力しています。また会員の帰属意識を高め、あらゆる面でインクルージョンを促進しています。私がロータリーの皆様に「世界に希望を生みだそう」と呼びかけているのはこのためです」

最後に秩父ロータリークラブと皆野・長瀬ロータリークラブの皆さんにお願いしたい事があります。それはこのような立派な例会を持って頂けるクラブがぜひ3年後、5年後に戦略性を持って、この地区のガバナーを選出するようなクラブになって頂きたいと思えます。深谷クラブも3年前に戦略計画委員会を設けまして、深谷から20年間、ガバナーが出ていないのでガ

バナーを出そうというような若手の声があがり、それがクラブの活性化に繋がるのではないかという事で決議されて、私が推薦を受けました。その時から5名くらい会員が増えました。女性も14名になりました。ですからそういう意味でその事がクラブの活性化につながっていく事だと思います。そういうふうな事が十分実力として持たれているのが秩父ロータリークラブ、皆野・長瀬ロータリークラブの皆さんだと思いますので、ぜひ3年後あるいは5年後どういうふうなクラブに自分たちはなりたいんだと皆さんにご検討頂いて、そういう事をぜひ真剣に討議を頂いたらどうかと思います。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
7	0	4	0	57.1%

